

家畜衛生だより

埼玉県中央家畜保健衛生所
電話：048-663-3071
緊急：090-2757-1650
Fax：048-666-8731
メール：m633071@pref.saitama.lg.jp

暑くなってきました！暑熱対策は万全ですか？

気象庁の3カ月予報によると、今後の関東地方の気温は平年と同様に高い状態と予報されており、梅雨が明けると気温が急激に高くなることが予想されます。比較的涼しい今のうちから、暑熱対策の実施をお願いします。



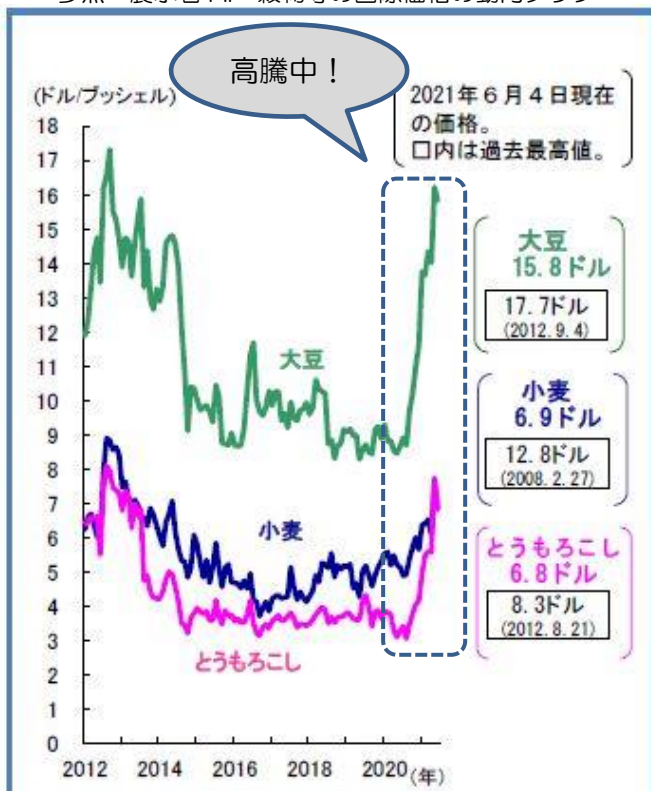
暑熱対策のポイント

- ✓ 換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水・散霧
- ✓ 畜舎環境の改善
 - 寒冷紗やよしずによる日よけの設置
 - 屋根裏・壁・床への断熱材の使用
 - 屋根への石灰塗布
- ✓ 良質で消化率の高い飼料や、ビタミン・ミネラルの追給、きれいで冷たい水の給与
- ✓ 高温・多湿で飼料が変敗しやすい季節です。十分確認してから給与しましょう。



飼料穀物価格が高騰しています

参照：農水省 HP 穀物等の国際価格の動向グラフ



昨年に引き続き、今後もとうもろこしや大豆油かすの価格高騰が続く見込みです。飼料費をできる限り低減する対策をとりましょう。

例えば…

- 飼料を無駄にしない
 - 適切な飼料保管
 - 朝晩の涼しい時間帯に分割給与で食べこぼし防止
- 自給飼料の活用
 - 自給飼料の増産
- 飼料費の低減
 - 食品残さ等のエコフィードの利用
- 生産性の向上
 - アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理で疾病予防・死亡率低減

ハエ対策は順調ですか？

ハエの活動が活発な季節。ポイントを押さえ、薬剤を有効活用しましょう！

【脱皮抑制剤（IGR剤）】 ウジ対策

- ・ 畜舎・畜房の隅や集糞ベルトなど糞が溜まりやすい場所を中心に使用
- ・ 夏は7～10日に1回散布（ハエの生活環に合わせて頻度を上げる）

【成虫用殺虫剤】

- ・ 曇天や雨天の散布が効果大（ハエが天井や壁に止まっている）
 - ・ 1年の前半・後半で薬剤系統*を変更（耐性獲得を避ける）
- ※薬剤系統：カーバメート系&有機リン系 ピレスロイド系 ネオニコチノイド系 の3系統
- ・ 毒餌（ベイト剤）は2週間おきに新しい薬剤に交換



令和3年度の自給飼料分析の受付を開始しました

県農業技術研究センターでは、今年度も自給飼料の分析を受け付けます。なお、分析項目は、品質評価と硝酸態窒素のみとなっておりますので御注意ください。

分析を希望される方は下記の各農林振興センターへ事前に連絡し、お申し込みください。分析費用は無料です。

◆対象飼料

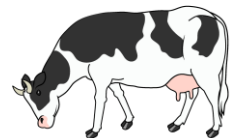
乳用牛または肉用牛を飼養する農家で自家生産された粗飼料（購入飼料は対象外）

◆分析項目／分析機関

- ・ 品質評価（乾物率、官能検査）／農業技術研究センター
- ・ 硝酸態窒素／中央家畜保健衛生所

◆分析結果の通知

収集日から概ね3週間後です。



◆分析機関の受付日程 ※サンプル受取日は、各農林振興センターが別途調整します。

実施月	6月	7月	9月	11月	1月	2月
月	14日 <small>終了</small>	12日	13日	15日	17日	14日
火	15日	13日	14日	16日	18日	15日
水	16日	14日	15日	17日	19日	16日

◆申込み先

お住まいの市町	申込み先
さいたま市、鴻巣市、上尾市、朝霞市、志木市、和光市、桶川市、北本市	さいたま農林振興センター 農業支援部 048-822-1007
蓮田市、白岡市、幸手市、杉戸町、松伏町	春日部農林振興センター 農業支援部 048-737-6311



☆埼玉県飼養衛生管理指導等計画を定めました！

家畜伝染病予防法に基づき国が定めた飼養衛生管理指導等指針（令和3年4月1日公表）に則り、標記計画を定めました。

令和3年度からの3年間の飼養衛生管理指導の重点項目を示しました。詳細は畜産安全課のホームページをご覧ください。

✦ <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0908/katikuboueki-top/index.html>

牛の重点指導事項

- ・飼養衛生管理マニュアルの作成及び従事者等への周知徹底
- ・衛生管理区域の適切な設定 ・記録の作成及び保管
- ・衛生管理区域の出入口における車両消毒の徹底
- ・特定症状が確認された場合の早期通報 ・埋却地等の準備

☆自家配合の場合でも、 抗生物質、合成抗菌剤やインド産落花生油かす を含む飼料を製造する場合は飼料製造管理者の設置が必要です

飼料製造管理者講習会が開催されますので必要な方は受講してください。

- ・開催日：令和3年10月18日（月）～10月22日（金）
- ・申請期間：令和3年7月1日（木）～8月13日（金）
- ・開催場所：さいたま新都心合同庁舎 2号館5階共用大研修室5A
- ・申し込み・問い合わせ先

独立行政法人農林水産消費安全技術センター 肥飼料安全検査部

TEL：050-3797-1857 ホームページ：<http://www.famic.go.jp>

中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

開所時間 平日 8:30～17:15

TEL：048-663-3071 FAX：048-666-8731

休日、夜間は緊急携帯電話に自動転送されます。（緊急携帯電話:090-2757-1650）

作業前に確認！作業者の熱中症予防のポイント

1 のどが乾く前に水分補給

- 喉が乾いていなくても、20～30分おきに水分をとるよう
に心がけましょう。
- 水分と併せて、塩分も補給しましょう。



2 定期的に休憩をとる

- 1時間おきに休むなど、時間を決めて休憩するようにしましょう。
- 日陰がない場合は、日除けを設けるなどして、なるべく涼しい環境で
休憩するようにしましょう。

3 なるべく複数人で作業をする

- 1人作業の時は、必ず携帯電話を持参しましょう。
- 家族等に作業場所と帰宅時刻を伝えておきましょう。



4 無理をしない・させない

- 自身の体調、一緒に作業する家族や従業員の体調に配慮し、少しでも
疲れたと感じたら、無理せず休む・休ませるようにしましょう。

5 ハウスや畜舎の換気を徹底

- 短時間の作業でも、側窓や天窗を開放して少しでも
風通しを良くしましょう。



熱中症になってしまったときの応急処置

- 衣服をゆるめ、涼しい場所に寝かせる
- 氷水につける、水を掛ける、扇風機等で強い風を送るなど
して、なるべく早く体を冷やす
- 飲めるようならこまめに水分をとらせる



※意識障害（受け答えがおかしい、意識がない）がある場合や、
症状が回復しない場合は、迅速に医療機関を受診して下さい。